

## 「西原の姿」

現在「西原の自然」では、西原の自然の姿を映し出す資料を収集しています。

そのひとつが、米軍撮影の空中写真。米軍は、沖縄戦前後に幾度も沖縄各地の空中写真を撮影しており、それらは、明確に当時の様子を物語っています。

写真①は、米軍上陸前・一九四五年一月三日撮影の西原飛行場付近です。写真②は、米軍上陸後・同年八月一八日撮影の同じ場所。

拡大して見ると、①では、当時の道、護岸の防風林家や畑の様子まではっきり見えます。また、広大な農地が日本軍に接収され、飛行場が建設されていたことも確認できます。

その半年後の写真②では、米軍によって拡張整備された飛行場や、潰れた家屋敷、建設中の国道三二九号などすっかり様変わりした姿が映っていました。どうです、みなさんにもこの変化が見えるでしょうか？

現在、町史の業務として、これらの写真や地図をパソコン上で活用できるよ

うな取り組みをしています。これからもみなさんに、様々な収集資料を紹介していけるようがんばりま

す。

(注・写真①、②とも国土地理院所蔵)



写真①1945年1月3日の小那覇飛行場



写真②1945年8月18日の小那覇飛行場